

令和7年度 大湊高等学校 学校経営方針

校 訓

「真理と正義」「自主と責任」「敬愛と協同」

スクール・ミッション（学校に求められる役割、目指す学校像）

総合学科の特長を生かし、生徒一人一人の興味・関心や進路志望に応じたきめ細かな教育活動及び自己の在り方・生き方を考察させるキャリア教育を通して、個性を生かしながら社会貢献に取り組む態度を養うとともに、外部人材と連携した多様な学びや部活動を推進し、主体性と他者を尊重する心を育み、情操豊かで社会の発展を担う人材を育成します。

スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）

【グラデュエーション・ポリシー】（育成を目指す資質・能力に関する方針）

大湊高校では、以下の力を育成します。

- 自分らしさを愛する気持ち【自己肯定感】
- 苦手なことにも挑める強さ【挑戦力】
- 多様な他者と協力する姿勢【協調性】
- 世界を広げるための確かな学力【学習力】

【カリキュラム・ポリシー】（教育課程の編成及び実施に関する方針）

大湊高校は、個に応じた学びを提供し、幅広い進路選択を実現します。

【アドミッション・ポリシー】（入学者の受入れに関する方針）

大湊高校は、以下の生徒を受け入れます。

- 夢がある、夢を持ちたい生徒
- カラを破りたい生徒
- 他者を応援できる生徒
- どんどん学びたい生徒
- 自分らしく時間を使いたい生徒

大湊高校は、個に応じた学びを提供し、幅広い進路選択を実現します。

具体的な取組

1) 魅力的な授業の実施【授業で生徒を育てる】

- ア 多様な生徒に対応するための教材研究及び教授法、対応の仕方の研究（学びのユニバーサルデザイン化の推進）
- イ 授業におけるグランドルールの遵守（学びの環境を整えるために）
- ウ 「評価」の観点、客観的基準の周知（育てるための評価に）

2) 教科外の学びの重視【心の力を育てる】

- ア 規律ある学校生活を通して、基本的生活習慣の確立と他者尊重の精神を涵養する（他者尊重の意識と社会性の醸成）
- イ 様々な学校生活の場面を通してコミュニケーションスキルの向上を図る（対人関係修復のための方法・技術の習得等）
- ウ 非認知能力（社会情動的スキル）育成の研究と実践（「見えない学力」を意識する）
- エ 非認知能力の育成を意識したホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動等の実践（※「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」を育成）

※ 岡山大准教授・中山芳一氏による非認知能力の分類

3) 総合学科としての豊かな学びの構築【日本一の総合学科を目指す】

- ア 探究学習の成果を継承する仕組みの構築（「大湊メソッド」の確立）
- イ 外部資源、人材の積極的登用（大学教員、専門家、地域人材の積極活用）
- ウ 体験を重視し、様々な体験の機会を設置（五感による理解の推進）
- エ 社会貢献活動への参加促進（貢献に伴う感情の体感）

4) 多様な生徒の支援【多様性を受容し、共生を学ぶ】

- ア 専門家との積極的連携（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）
- イ 保護者、中学校、関係機関との連携推進（信頼関係の構築）
- ウ 「合理的配慮」の推進（対象の背景・心情に寄り添う）